

環境だより



環境課 ☎66・1121

地球温暖化の原因

この100年間で日本の平均気温は約1度、世界でも約0.6度、気温が上がりました。このまま対策を講じないと今後100年で、さらに4度も上昇するといわれています。それは、私たちの住まいや暮らしにおけるエネルギー消費量が急増し、二酸化炭素(CO₂)の排出量も急増していることが原因です。特に、家庭でのエネルギー消費量の増加が著しく、30年前に比べて約2.3倍ものエネルギーを消費しています。そこで、今年2月、地球の温暖化を止めるための京都議定書が発効されました。

私たちが暮らす地球を守る

マイバックを使いましょう

り、いつまでも変わらない美しい姿で未来に残すこと。それが、いま生きている私たちに課せられた大きな使命です。

マイバック持参で環境保護

現在、日本では年間平均1人当たりで約250枚のレジ袋を消費しています。レジ袋を1枚断ると約100gのCO₂を削減できます。もしあなたが買い物へ行く時に、マイバックを持参して、レジ袋を使わないとすると、1年間で約25kgのCO₂を減らすことができるのです。

蒲郡市では、透明または半透明のレジ袋をごみ袋として利用できますが、不必要なレジ袋は受け取らないようにしましょう。今年の4月にみなさんにお配りしたe・bagをぜひご利用いただき、省エネルギーを心がけましょう。



消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

緊迫する火災出動中の消防車内、ベテラン隊長の指示を受けながらハンドルを握る若手消防士。

(隊長)「おい、現場は○○商店前だぞ！いいな！」

(若手消防士)「(○○商店？聞いたことないぞ)現場はコンビニ△△の前ですよね」

(隊長)「○○商店だ！最近新しく改装したところだ！」

コンビニに店構えが変わっても、昔苦労して頭に叩き込んだ商店の名前が隊長の頭には焼き付いているのです。でも大丈夫、結果的に場所は同じなので、無事に現場到着！

消防一筋何十年のベテランから消防学校を卒業したばかりの新人までが一緒に行動をともにする消防署では、こうした世代間のギャップを痛感することはよくあることです。毎年新人消防士が入ると、年輩消防士が発する消防士用語が分からずに、見当違いの行動をとり、怒鳴られます。

「おい、水利調査に行くから、おおばこまわし(消火栓ねじ回し)を用意しておけ」とベテラン消防士に言われ、『オオバコマワシ？大きな箱を回す道具？』と頭を抱える新人消防士。さらに「出動だ！刺し子(防火衣)を忘れず積んでおけよ！『サシコって？一体何を積めばいいんだ』と途方に暮れます。やつと防火衣だとわかった時には消防車に乗り遅れそうになるなんてことも。そんな新人消防士も先輩が入ってくる「おい、とっぱい(防火帽)忘れるな」とすっかり消防色に染まります。

これも世代の違い？

でも、年輩消防士の皆さん。これから先、言葉だけでなく、街も人も目まぐるしく変わってきていますよ。時代に乗り遅れないように…。